＊＊2022 年 10 月 1 日(第 5 版)
＊2020 年 8 月 1 日(第 4 版)

承認番号：21500BZZ00431000

器０６呼吸補助器
管理医療機器　呼吸同調式レギュレータセット 70580000

パイピング式酸素吸入器　Ｐ－ＦＨ（川重型）

TP－223

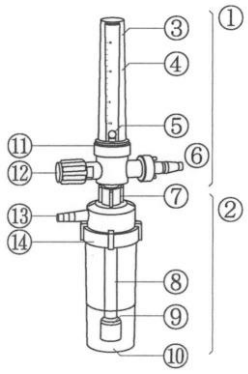
＊＊【警告】
・アウトレットチャック及び各併用医療機器との接続の際は、接続部に異物が混入しないようにしてください。
・各併用医療機器及び接続部から発火や異臭がある場合は直ちに使用を中止してください。
・医療用酸素に異臭を感じたときは使用を中止してください。
［使用方法］
・使用前に機能テストを行い、正常な作動を確認してください。
・使用後は本器を集中配管のアウトレットチャックから外してください。本器の流量調節つまみを閉めても酸素供給は完全には止まりません。
・流量調節つまみを回す際や構成品を接続する際は、無理な力を加えないでください。
［併用医療機器］
・酸素マスクや酸素カニューラを併用する時は、確実に接続されている事を確認してください。
・酸素マスクや酸素カニューラからの酸素流出を確認し、患者に装着してください。
・蘇生器等と併用の場合は、蘇生器等の流量限界を厳守してください。
・湿潤器(加湿瓶)、酸素マスク、酸素カニューラは未滅菌品です。

【禁忌・禁止】
・異なる機種の構成品を接続しないでください。
・有害な空気の中での使用しないでください。
・酸素中に油が混入する様な環境下で使用しないでください。
・煙草や裸火のそばで使用しないでください。

【形状・構造及び原理等】

形状・構造

①パイピング式酸素吸入器（本器）
②湿潤器（加湿瓶）
③キャップ
④ゲージ管
⑤浮玉
⑥アダプタ
⑦湿潤器用取付ナット
⑧導圧管(S)
⑨セパレートフィルタ
⑩湿潤器用ボトル（S）
⑪ベース
⑫流量計調節つまみ
⑬吸入用酸素出口
⑭湿潤器用キャップ



原理

病院内に設備された集中配管のアウトレットチャック（端末部）に本器のアダプタを差し込み、流量計調節つまみを左方向（ＯＰＥＮ）に回すことによりニードル部が開放され、配管内の酸素が本器のベース、ゲージ管、浮玉、キャップ、湿潤器用取付ナット、導圧管（Ｓ）、セパレートフィルタ、湿潤器用ボトル（Ｓ）、精製水、湿潤器用キャップ、吸引用酸素出口の順に通過し、酸素吸入を行う。酸素吸入を停止する時は、流量計調節つまみを右方向（ＳＨＵＴ）の回すことにより流量計調節つまみのニードル部が閉塞され、集中配管からの酸素は遮断される。

仕様

調整流量：１．５～１５Ｌ／ｍｉｎ(可変式)

【使用目的又は効果】

本器は病院内に設備された酸素配管のアウトレット（配管端末機）に接続して使用する酸素吸入器で、必要な酸素ガスを流量計と加湿器を通し、処方流量に調節して使用します。

【使用方法等】

1）本器のアダプタのピンが折れていたり、変形したりしていないか確認してください。
2）本器のゲージ管のひび割れ、キズがないことを確認してください。
3）湿潤器（加湿瓶）の湿潤器用キャップを外し、湿潤器用ボトルに精製水を標準水位線（ＷＡＴＥＲ　ＬＩＮＥ）まで入れてください。
4）酸素吸入調整部本体のねじ部に湿潤器（加湿瓶）の湿潤器用取付ナットを接続してください。
5）本器のアダプタを集中配管のアウトレットチャックに差し込んでください。
6）酸素用マスク又はカニューラを接続してください。
7）吸入を開始する時は、流量計調節つまみを左（ＯＰＥＮ）に回して処方流量にセットしてください。
8）本器のゲージ管用浮玉を見ながら、流量計調節つまみを回し浮玉の中心をゲージ管の計測値（処方流量）にセットしてください。
9）酸素用マスク又はカニューラからの処方流量の酸素が出ていることを確認してから、吸入を行ってください。
10）吸入を停止する時は、流量計調節つまみを右（ＳＨＵＴ）に回して酸素を止めてください。
11）吸入用酸素出口からの酸素が出なくなったことを確認してください。
12）使用後は、本器を集中配管のアウトレットチャックから外して保管してください。

＊＊【使用上の注意】
・本器は垂直（ゲージ管が上）に設置してください。
・湿潤器(加湿瓶)を点検する際、酸素流出口を塞ぎ酸素供給すると、各接続部から酸素が漏れますが故障ではありません。
・構成品、オプション品を接続する場合は、その互換性、安全性を確認した上で使用してください。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法

水のかかる場所、高温多湿の場所、直射日光の当たる場所には保管しないでください。

耐用期間

６年（自己認証による）

【保守・点検に係る事項】

使用者による保守点検事項
・使用前に本体が清潔であることを確認する。
・使用前に破損や汚れがないことを確認する。
・使用前に作動することを確認する。

業者による保守点検事項
・一年毎に破損や汚れがないことを確認する。
・一年毎に作動することを確認する。

洗浄・消毒
・本器は洗浄できません。
・湿潤器は分解して洗浄してください。
［湿潤器推奨薬剤］
・消毒用アルコール
・次亜塩素酸ナトリウム
※使用後は薬剤を洗い流してください。
※両性界面活性型外用殺菌消毒剤等の薬液は使用しないでください。

＊【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

ブルークロス株式会社
ＴＥＬ：０４９－２４３－９９３９
www.bluecross-e.co.jp

販売業者（販売店）

取扱説明書を必ずご参照ください。